



新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金効果検証について
(令和3年度分)



白河市

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の概要

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響で打撃を受けている地域住民や事業者を支援し、地方創生を図ることを目的として、国において創設されました。

本市では、令和3年度においては、5億241万6千円が交付され、合計63の事業を実施しました。事業の完了に伴い、事業担当課において事業の効果検証を行いましたので、以下のとおり結果を取りまとめました。

○本市交付額（令和3年度） 5億241万6千円

1. 総事業費と交付金充当額

（単位：円）

事業区分（得られた効果）	総事業費	交付金充当額	事業数
① 感染防止対策の徹底	74,651,781	49,942,781	21
② 医療機関の体制強化・検査促進	70,823,099	61,742,995	4
③ 市民・事業者への支援	69,416,048	69,416,048	7
④ 地域経済の活性化	271,395,027	235,799,546	7
⑤ 教育に対する支援	45,333,818	40,523,818	10
⑥ テレワーク・デジタル推進	23,187,366	23,131,366	8
⑦ その他の事業	21,952,265	21,859,446	6
合計	576,759,404	502,416,000	63

1.感染防止対策の徹底

21事業 総事業費 74,651千円
交付金額 49,942千円



(1) 感染対策用品の購入	13事業
総事業費	51,605千円
交付金額	27,596千円

- マスク・消毒液・除菌シート等の購入・配布
- 空気清浄機・サーモグラフィカメラの公共施設等への設置 等 (事業No.1~13)

(2) 公共施設等の改修	6事業
総事業費	21,996千円
交付金額	21,996千円

- トイレの設備改修、洗面台蛇口の修繕 等 (事業No.14~19)

(3) 子育て施設への助成	2事業
総事業費	1,050千円
交付金額	350千円

- 子育て支援施設に対するアルコール消毒液等、衛生管理用品の購入助成 (事業No.20~21)

(事業の効果)

評価A

新型コロナウイルス感染拡大に対し、マスクや消毒液等の感染対策用品の購入・配布、トイレや洗面台などの水回りを中心とした施設改修を迅速に行い、令和2年度に引き続き感染対策を徹底したことで、感染拡大の防止に寄与することができた。

特に小中学校や幼稚園、児童クラブを中心に感染防止対策を行ったことで、子どもたちや保護者の安全・安心を確保することができた



【学校玄関に設置されたサーモグラフィカメラ】

【評価基準】

- A：十分な効果を発揮した B：概ね効果を発揮した
C：部分的に効果を発揮した D：効果を発揮したとはいえない

2.医療機関の体制強化・検査促進

4事業 総事業費 70,823千円
 交付金額 61,743千円



(1) 医療機関の体制強化 1事業
 総事業費 9,164千円
 交付金額 104千円

●白河厚生総合病院への発熱外来診療所の設置・運営
 (事業No.22)

(2) ワクチン接種・検査促進 3事業
 総事業費 61,659千円
 交付金額 61,639千円

●事業者へのPCR検査キット無償配布
 ●ワクチン接種会場へのタクシー助成券交付
 ●高齢者への検査費用助成
 (事業No.23~25)

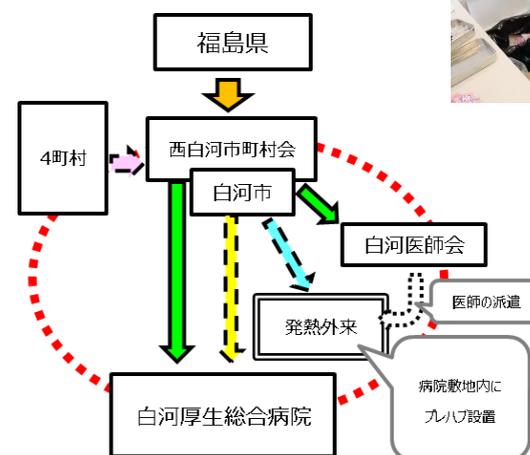
(事業の効果)

評価A

・令和2年度に引き続き、白河医師会の協力のもと、医師会登録医師が当番で発熱外来の診療を実施し、かかりつけ医の無い患者の受け皿として地域医療の崩壊を防ぎ、医療体制を維持することで住民の不安を解消することができた。
 ・高齢者等に対し、ワクチン接種会場までのタクシー助成券を配布したことで、本格的に始まったワクチン接種を促進し、感染防止を図ることができた。
 ・事業者に対しPCR検査キットを無償配布したことにより、感染の早期発見やクラスター発生の防止につながった。



【接種の様子】



【発熱外来の相関図】

3.市民・事業者への支援

7事業 総事業費 69,416千円
交付金額 69,416千円



(1) 子育て支援	1事業
総事業費	32,870千円
交付金活用額	32,870千円

(2) 生活支援	3事業
総事業費	17,220千円
交付金活用額	17,220千円

(3) 補助金の交付	3事業
総事業費	19,326千円
交付金活用額	19,326千円

●ひとり親世帯、就学援助世帯への臨時給付金の支給(事業No.26)

●生活困窮者等への支援金給付
●障がい者就労継続支援金の交付
●原油高騰による物価上昇の影響を受けている低所得世帯への生活支援金の給付(事業No.27~29)

●子ども食堂に対する補助
●米価下落に対する農業者への補助
●農業収入保険料の補助(事業No.30~32)



(事業の効果)

評価A

・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、経済的に打撃を受けているひとり親世帯等の生活困窮世帯に対し、臨時給付金の支給をすることで、生活支援につなげることができた。

・コロナ禍での外食産業の低迷により米価が大幅に下落し、農業者の収入が悪化したため、原材料や農業収入保険料の補助を行うことで、生産者の営農継続と所得の安定を図ることができた。



【子ども食堂の様子】

4.地域経済の活性化

7事業 総事業費 271,395千円
交付金額 235,799千円



(1) 商店・飲食店への支援 3事業
総事業費 244,774千円
交付金活用額 209,178千円

- 飲食店、小売店等で使用できるクーポンの配布
- 専用アプリを活用した登録店舗の情報発信、クーポンの付与（事業No.33～35）

(2) 移住定住の推進・魅力発信 2事業
総事業費 19,067千円
交付金活用額 19,067千円

- 本市への移住者に対する引越支援、住宅取得時の補助（事業No.36,37）

(3) 観光振興 2事業
総事業費 7,554千円
交付金活用額 7,554千円

- フィルムコミッション事業の実施（映画、テレビ番組、CM等の撮影支援・誘致）
- まちなか駐車場の空き情報提供システムの整備（事業No.38,39）

（事業の効果）

評価A

・新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛や行動制限、飲食店等への時短要請により、地域経済が停滞したことから、令和2年度に引き続き、第3弾・第4弾のクーポン事業を実施し、商店・飲食店への支援をするとともに、地域経済の回復に寄与することができた。

・テレワークの広がり等を背景に地方への関心が高まったことを受け、本市への移住者支援を積極的に行ったことで、地域の活力向上につながった。

・映画やTV番組、CM等の撮影を支援・誘致することで、コロナ禍で減少した観光客の回復に繋げることが出来た。



【専用アプリによるクーポン付与】



【藤波辰爾の歴史探訪】



5.教育に対する支援

10事業 総事業費 45,333千円
交付金額 40,523千円



(1) ICT教育の推進	1事業
総事業費	403千円
交付金活用額	403千円

●白河歴史の手引き「れきしら」の電子化
(事業No.40)

(2) ICT教育備品購入	4事業
総事業費	33,374千円
交付金活用額	33,374千円

●大型掲示装置（電子黒板）、プロジェクターの
購入・設置
●タブレット用タッチペンの購入(事業No.41～44)

(3) ICT教育支援員配置	4事業
総事業費	9,622千円
交付金活用額	4,812千円

●ICT教育の支援員の配置
(事業No.45～48)

(4) その他の事業	1事業
総事業費	1,934千円
交付金活用額	1,934千円

●中学校の修学旅行中止に伴うキャンセル料補助
(事業No.49)

(事業の効果)

評価B

- ・市内小中学校に大型掲示装置（電子黒板）を設置したことで、新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校の臨時休校や登校自粛時においてもリモートで学習が実施できるようになり、コロナ禍における学習機会の確保を図ることができた。
- ・ICT支援員を配置し、教職員や生徒のサポートをしたことで、ICT教育の推進に寄与することができた。
- ・タブレット端末で「れきしら」を閲覧できる環境を整えることで、接触の機会を減らすとともに、市の歴史を学ぶ機会の充実を図ることができた。



【ICT教育環境の整備】

6.テレワーク・デジタル推進

8事業 総事業費 23,187千円
 交付金額 23,131千円



(1) サテライトオフィスの整備 2事業

総事業費 10,073千円
 交付金活用額 10,073千円

(2) デジタル推進 6事業

総事業費 13,114千円
 交付金活用額 13,058千円

- 顔認証システムの導入（決済機能、入退室管理機能付き）
- 企業誘致に特化したホームページの作成（事業No.50,51）

- 公共施設におけるWi-Fi環境の整備、キャッシュレス決済の導入
- マイナンバーカード普及促進事業の実施 等（事業No.52～57）



（事業の効果）

評価A

- ・企業誘致関連に特化したホームページを作成し、本市に興味のある企業関係者にワンストップで企業誘致施策とサテライトオフィスの情報を発信したことで、サテライトオフィスの入居促進につながった。
- ・ラクリエーションプラス内のコワーキングスペースに顔認証システムを導入したことで、施設予約や入退出時の手続き、利用料の精算などすべてを非接触で行うことが可能となり、感染の予防と施設の利用促進につながった。
- ・各公共施設へのインターネット環境（Wi-Fi）の整備やキャッシュレス決済の導入により、行政手続きのオンライン化や各種手数料の支払いの簡素化・非接触可を実現したことで、市民の利便性向上と感染防止につながった。



【ラクリエーションプラス内の顔認証システム】

【キャッシュレス決済システム】

7.その他の事業

6事業 総事業費 21,952千円
交付金額 21,859千円



(1) 健康促進 2事業

総事業費 19,214千円
交付金活用額 19,214千円

- 身近な公園の整備・健康遊具の設置
- 健康ポイント事業の実施
(事業No.58,59)

(2) 文化振興 1事業

総事業費 998千円
交付金活用額 998千円

- ミニコンサートの開催
- スマートフォンなどを活用した映像制作講座の開催
(事業No.60)

(3) 人権尊重・啓発 3事業

総事業費 1,740千円
交付金活用額 1,647千円

- 人権尊重のための啓発、講演会の開催
- 高齢者、児童虐待防止の啓発
(事業No.61~63)

(事業の効果)

評価 B

・コロナ禍における行動制限や外出自粛の影響で、体力の低下や健康状態の悪化が懸念されたことから、公園への健康遊具の設置やウォーキングを促す健康ポイント事業の実施により、市民の健康増進を図った。

・コロナ禍において文化振興の取組みを実施したことで、精神的な安らぎの醸成のほか、ワークショップや講座を通じた市民の交流につながった。

・感染拡大に伴い、感染者への誹謗中傷・差別的扱い等が問題となり、外出自粛等の影響で高齢者や児童への虐待増加が懸念されたことから、講演会の開催やリーフレットを配布することで、人権尊重の啓発と虐待防止を図った。



【ウィンターナイトコンサート】



【整備された新白河1号公園と設置された健康遊具】

総評

令和3年度は新たな変異株のまん延など、新型コロナウイルス感染拡大の影響がさらに大きくなった1年であり、市民生活や地域経済への感染拡大の影響を最小限に食い止めるため、合計63の事業を実施した。

感染対策では、令和2年度に引き続きマスクや消毒液等の購入・配布を行うとともに、各公共施設において空気清浄機の設置や水回りの衛生対策を実施することで、感染拡大の防止や感染に対する市民の不安払拭につなげることができた。

また、本格的に始まったワクチン接種を促進するとともに、事業者への検査キットの配布により、感染の早期発見とクラスターの発生防止に努めることができた。

さらに、飲食店等で使用できるクーポン事業の第3弾・第4弾の実施に加え、移住定住の推進や観光振興など、地域経済の活性化を図ることができた。

そのほか、医療機関の体制強化や子育て世帯等の生活に困っている市民への支援、ICT教育の推進、テレワーク・デジタルの普及推進に引き続き効果を発揮することができた。

今後は、感染防止対策に努めつつ、市民生活への支援を継続していくとともに、「ウィズ・コロナ」のもと、社会経済活動を再開し、地域活性化に資する取組みを展開していきたいと考える。